

現 状

【能力に関する改良目標】

（飼料効率、生産能力、育成率）【卵用鶏・肉用鶏】

- 卵用鶏は改良目標を達成。肉用鶏は育成率、飼料要求率が改良目標を未達。

（その他）【卵用鶏・肉用鶏】

- 卵用鶏の約9割の種鶏が海外育種会社で改良（今後、目標卵重の持続期間の延長を目指す予定）。
- 肉用鶏（ブロイラー）は約99%の種鶏が海外育種会社で改良（増体量の改良が早く、ブロイラー出荷時の到達日齢が平均で49日齢より早い傾向。）

【能力向上に資する取組】

（改良手法：国産鶏の系統造成）【卵用鶏・肉用鶏】

- 家畜改良センターは、国産鶏の系統造成において種鶏を民間や都道府県に供給（特に地鶏等銘柄の多くで利用）。

（改良手法：在来種の利用）【肉用鶏（特に地鶏等）】

- 家畜改良センターは、都道府県で維持困難な在来鶏を保存。また、繁殖性改善のため、在来種等を利用した組合せ検定を実施しその結果を情報提供。

（飼養・衛生管理）【卵用鶏・肉用鶏】

- 飼料用米の生産・給与技術マニュアル、鶏の快適性に配慮した飼養管理のガイドラインを作成。

（食味）【肉用鶏】

- 「おいしさ」については、家畜改良センターにおいて成分と官能特性との調査を実施。
（せん断力価（歯でかみ切る力）が高いものは、肉のやわらかさや多汁性（肉の保水性）が低いことが判明。なお、「おいしさ」に係る風味の強さ（香りと味）と成分との関係は見られなかった。）

（その他）【肉用鶏（特に地鶏等）】

- 国産鶏（特に地鶏等）には多くの地鶏・銘柄鶏があり、改良目標が設定されていない。

課 題

【能力に関する改良目標】

（飼料効率、生産能力）【卵用鶏】

- 国内民間企業では、育種規模が小さいため、シェア拡大は困難。
- 生産費を抑えるための産卵率、飼料要求率等の基本的能力の改良継続。

（生産能力等）【肉用鶏（特に地鶏等）】

- 増体性、繁殖性等の改良（都道府県の肉用鶏の改良手法の多くは血統（保有する在来鶏の特徴保持）を重視）。

（その他）【卵用鶏・肉用鶏】

- 国産鶏の特徴を付与するための基本的形質（改良目標値の示されている形質）以外の形質の改良（例えば肉用鶏の羽装の統一）。

【能力向上に資する取組】

（改良手法：国産鶏の系統造成）【卵用鶏・肉用鶏】

- 国産鶏の系統造成の推進。

（改良手法：在来種の利用）【肉用鶏（特に地鶏等）】

- 国と都道府県による地鶏の遺伝的改良の強化に向けた取組。

（飼養・衛生管理）【卵用鶏・肉用鶏】

- 鳥インフルエンザの発生等を踏まえた、疾病発生リスクの減少のための取組。
- 飼養衛生管理基準の周知、遵守徹底。
- 飼料用米給与に伴い卵黄や肉の色が薄くなることの理解醸成。
- 我が国の飼養実態を踏まえた、鶏の快適性向上への対応。

（食味）【肉用鶏】

- おいしさ（風味の強さ）と成分との関係についての調査・検討（消費者の視点に立った評価として利用可能性の把握）。

（その他）【肉用鶏（特に地鶏等）】

- 国産鶏（特に地鶏等）についての改良目標値設定の可否。